

コード No. 18141

**Anti-Rat  
IL-1 $\beta$  (C) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100  $\mu$ g

はじめに : インターロイキン-1 (IL-1)は、主としてマクロファージ系の細胞から産生される分子量 17kDa の糖タンパク質サイトカインで、 $\alpha$  と  $\beta$  に分類されます。生体における IL-1 の約 90 % は  $\beta$  であり、かつ両者の一次構造上の相同性は 26 % に過ぎませんが、その特異的レセプターは共通なことから、生理機能上の役割は同じと考えられています。IL-1 は種々の免疫担当細胞に多彩な生理活性を有しますが、その最も重要な働きはヘルパーT 細胞の IL-2 産生を誘導し、IL-2 を介して T 細胞の分化・増殖を促進することとされています。さらに IL-1 はマクロファージ系細胞以外にも生体の各種細胞から産生・分泌され、免疫調節機構のみならず結合組織系細胞や中枢神経系に対してもさまざまな影響を及ぼすことが報告されています。IL-1 の発熱作用や滑膜細胞における PGE2 およびコラゲナーゼの産生誘導、線維芽細胞増殖作用は、生体の炎症過程に密接に関与しています。

免疫抗原 : Rat IL-1 $\beta$  の C 端部分合成ペプチド

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1 % BSA、0.05 % NaN<sub>3</sub> 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100  $\mu$ g/mL となります)

保存方法及び : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び : 免疫組織染色 5  $\mu$ g/mL にて使用可能

使用方法 (ホルマリン固定、パラフィン切片 : マイクロウエーブ処理(10mM クエン酸緩衝液、pH6.0, 10 分間))

: ウエスタン・ブロッティング 0.5~5  $\mu$ g/mL にて使用可能